

令和5年度

事業計画書

社会福祉法人 海南省社会福祉協議会

# 目次

令和5年度事業計画の重点事業	1
<b>I. 法人運営事業</b>	
法人運営事業①	3
法人運営事業②	3
法人運営事業③	4
<b>II. 地域福祉事業</b>	
福祉団体への活動助成	5
民生委員児童委員等関係事業	5
用具等貸与事業	5
広報事業	6
ボランティア育成事業	6
ボランティア活動支援事業	6
災害ボランティア運営事業	7
善意銀行運営事業	7
心配ごと相談事業	8
福祉教育事業	8
ボランティアセンター活動事業	9
ふれあい・いきいきサロン支援事業	9
地域福祉活動計画進行管理事業	10
福祉総合相談事業	10
生活困窮者自立相談支援事業	11
生活困窮者家計改善支援事業	11
地域福祉活動支援事業(生活支援体制整備事業等)	12
子どもの居場所づくり支援事業	13
認知症見守り・啓発事業	13
福祉サービス利用援助事業	13
生活資金貸付事業	14
生活福祉資金貸付事業	14
<b>III. 在宅福祉事業</b>	
いきいき介護予防事業	15
<b>IV. その他の関連事業</b>	
共同募金事業	16
赤十字活動資金事業	16

## 令和5年度事業計画の重点事業

### ★重点事業1 地域福祉活動支援事業(生活支援体制整備事業等)の推進

ふれあい・いきいきサロンやこども食堂等の地域活動への参加、住民へのアンケート・ヒアリングを足掛かりに、生活支援コーディネーターが地域との関わりを深め、地域活動に理解のある個人・団体等を結び付けることにより、旧小学校区を単位とした第2層協議体の立ち上げを支援し、協議体未設置の8地区(黒江船尾・内海・大野・中野上・南野上・加茂第一・加茂第二・仁義)においては、可能な限り協議を進める。

協議体設置地区(日方・冷水・巽・亀川・北野上・下津・大東・大崎・塩津)においては、活動の継続を支援するとともに、地域資源・地域ニーズの把握に努め、社会福祉法人等とのニーズ共有による協働の促進、ボランティアセンター活動事業と連携した生活支援ボランティア養成講座の開催による担い手の養成、移動支援等の導入などにより、活動の充実を図る。

### ★重点事業2 福祉総合相談事業の充実

生活困窮者を含め、様々な困りごとを抱えた人からの相談に対し、行政や関係機関、NPO法人等と連携しながら職員全員体制で臨み、必要な情報提供や福祉サービスの提供へ結び付けていくことができるワンストップの相談支援体制の充実を図る。

また、総合相談を主導するコミュニティソーシャルワーカーの配置を見据え、専門研修に参加しコーディネーション力の向上を図る。

とりわけ「ひきこもり」の支援については、生活困窮者自立支援相談事業の中で、海南市社会福祉課や保健所をはじめ若者サポートステーション、ボランティア団体、地区の民生委員などと連携しながら、アウトリーチにより要望のあった相手方へ訪問し、家族への支援も含め、時間をかけて当事者の思いを理解し、社会的なつながりが構築できるよう支援を行う。

### ★重点事業3 災害ボランティア運営事業の強化

災害ボランティアセンター(以下「災害VC」という。)設置・運営マニュアルの見直しと災害VCの設置場所の選定を目的に、災害時に備え年2回の災害VC設置運営訓練を実施する。

1つは、6月から7月にかけて下津町地域において地域の方々を動員した災害ボランティア活動訓練を行い、別の場所で活動訓練と連携しながら災害VC設置運営訓練を実施し、訓練終了後、災害ボランティア講座などの研修も併せて開催する。

1つは、11月実施予定の亀川地区を重点地区とする海南市防災訓練の避難所運営

訓練に、市内の高校生、県内の大学生や災害時の協定を締結している団体等とともに参加し、別に避難所運営訓練と連携しながら和歌山県看護研修センターにおいて災害VC設置運営訓練を実施する。

災害VC設置場所の選定については、指定緊急避難場所に指定されている海南中央公園の防災公園としての整備状況をみながら、訓練実施場所も含め検討するとともに、災害VCサテライトの設置場所についても候補先を検討する。

また、災害時に活動していただく災害ボランティア登録者の増員を図るため、ホームページやSNSなどで登録の呼びかけを継続し、市内の企業や登録防災士などへ登録の募集案内を行うとともに、登録者のつながりを目的とした災害ボランティア交流会などを開催する。

## I. 法人運営事業

### 【事業名】法人運営事業①

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人の会務の円滑な運営を図るため、以下の会議を開催する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○理事会の開催</li> <li>○評議員会の開催</li> <li>○監事会の開催</li> <li>○評議員選任・解任委員会の開催</li> </ul> </li> <li>・自主財源が少ないなか、社会福祉事業を効率的に遂行するために、過去の事業を検証しながら改善に努める。</li> <li>・社会福祉の推進に多年にわたり活動を続け、その功績が顕著である方に対して、社協会長より表彰又は感謝の意を表し、その功績と苦勞に報いるとともに、社会福祉の増進に資することを目的に社会福祉功勞者表彰式を開催する。</li> </ul>
予算額	567,000円
財源	市補助金、社協会費、一般財源
地域福祉活動計画	計画外

### 【事業名】法人運営事業②

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各職員の福祉意識を醸成するため、職員間における協議やゲストスピーカーによる講話等を行うほか、職責に応じた研修等に参加する。</li> <li>・職員に対する国家資格取得（社会福祉士等）に係る経費の助成支援を行う。</li> <li>・社協の新規会員募集について、チラシやホームページに社協事業、社協会費の使途を掲載し、会費の納入をお願いするとともに、特別会員の会員数増加に向けて新たに社会福祉法人や企業・団体等に特別会費の納入をお願いする。</li> <li>・地域福祉活動の財源確保のため、共同募金をはじめ、国、県、県社協、民間福祉財団等の助成金を活用する。</li> </ul>
予算額	776,000円
財源	社協会費、一般財源
地域福祉活動計画	<p>基本目標1：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり</p> <p>事業名：職員の福祉意識の醸成、社会福祉協議会の新規会員募集、民間財源等の活用の検討</p>

【事業名】法人運営事業③

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発災直後の初動行動マニュアルを作成し、海南市職員防災訓練や災害ボランティアセンター（以下「災害VC」という。）設置運営訓練で検証する。</li> <li>・事業継続計画（BCP）の策定に先立ち、災害時における社協業務の3分類(継続すべき業務・休止しても大きな支障のない業務・新たに発生する業務)についてさらに細分化するとともに、新たな感染症にも対応できるよう検証し、見直す。</li> <li>・津波等の被害を想定した社協事務所の代替えについては、事業を継続する事務所に立ち入り、業務の実施状況の想定を行うとともに、他の候補地の調査を行う。</li> <li>・災害時応援協定については、必要に応じて新たな協定候補先を選定し、協定に向けた協議を行い、双方合意のもと協定を締結する。</li> </ul>
予 算 額	—
財 源	—
地域福祉活動計画	<p>基本目標3：安心・安全な支え合いのまちづくり</p> <p>事業名：災害時行動計画の策定、事業継続計画(BCP)の策定、災害時応援協定の締結</p>

## Ⅱ. 地域福祉事業

### 【事業名】福祉団体への活動助成

事業内容	<p>社会福祉関係団体が行う社会福祉活動に対し、助成金を交付することにより、当該団体を育成・支援するとともに、地域の社会福祉活動の活性化を図る。</p> <p>※市内8団体へ交付予定：海南市老人クラブ連合会、海南市障害児者父母の会、海南市更生保護女性会、紀西保護司会海南分会、手話サークル「青空」、海南たんぽぽの会、海南市身体障害者連盟、紀の国断酒会友綱</p>
予算額	497,000円
財源	共募配分金、一般財源
地域福祉活動計画	計画外

### 【事業名】民生委員児童委員等関係事業

事業内容	<p>民生委員児童委員協議会活動を支援し助成を行うとともに、民生委員・児童委員等の互助と共励を基盤として、活動の充実振興を図ることを目的として、全国民生委員互助共励事業に係る事務を行う。</p>
予算額	133,000円
財源	共募配分金
地域福祉活動計画	計画外

### 【事業名】用具等貸与事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や障害者等の日常生活での負担とその家族の介護に対する負担の軽減を図るため、また自治会や学校等の車イス体験及び防災研修会等の開催を支援するため、車イスの貸し出しを行う。</li> <li>・チャイルドシート等の使用を促進し、幼児の生命又は身体に対する危害を防止するため、チャイルドシート等の貸し出しを行う。</li> <li>・住民の交流及び健康増進を図るため、グラウンド・ゴルフ用具の貸し出しを行う。</li> </ul>
予算額	136,000円
財源	共募配分金、社協会費、その他（利用料）
地域福祉活動計画	計画外

【事業名】 広報事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙面を工夫した広報紙の毎月発行、ホームページの随時更新やSNSなど様々な広報媒体を活用して、社協事業や地域福祉に関する取り組みなどの情報を発信する。</li> <li>・社協の取り組みを分かりやすくまとめたリーフレットを企業や社会福祉法人等への訪問時、また福祉教育事業や夏のボランティア体験月間事業などの実施時に配布する。</li> <li>・自治会を通じた広報紙の配布に加え、広報紙を設置していただける店舗や施設を検討し、社協の周知を図る。</li> <li>・他社協や行政だけではなく、異業種の情報誌やホームページ、SNSなどから見せ方等を研究する。</li> <li>・広報に関する研修へ参加するとともに、研修内容を全職員で共有するなど広報に関するノウハウの取得や職員の広報意識の向上を図る。</li> </ul>
予算額	2,371,000円
財源	共募配分金、社協会費
地域福祉活動計画	基本目標1：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり 事業名：広報事業、社会福祉協議会の取り組みの見える化、職員の広報意識の向上と広報ノウハウの取得

【事業名】 ボランティア育成事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生及び中学生のボランティア活動へのきっかけづくりとして、様々なボランティア活動を体験する夏のボランティア体験月間事業を実施する。</li> </ul>
予算額	89,000円
財源	共募配分金、社協会費
地域福祉活動計画	計画外

【事業名】 ボランティア活動支援事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアグループ等に対し、活動費、保険料、給食・配食ボランティアに係る食材費等を助成するとともに、民間助成金に関する情報提供などを行い、ボランティア活動の拡充を図る。</li> </ul>
予算額	1,173,000円
財源	共募配分金、社協会費
地域福祉活動計画	基本目標3：安心・安全な支え合いのまちづくり 事業名：ボランティアセンター活動事業、新しい社会貢献的ボランティアプログラムづくり

【事業名】 災害ボランティア運営事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海南市や災害時応援協定を締結した関係団体等と連携を図りながら、災害VC設置・運営マニュアルに基づいて設置運営訓練を実施し、必要に応じてマニュアルの見直しを行う。</li> <li>・ 指定緊急避難場所に指定されている海南中央公園の防災公園としての整備状況をみながら、他の災害VC設置場所の候補地において訓練を行うとともに、災害VCサテライトの設置場所についても候補先を検討する。</li> <li>・ 中学生や高校生、県内の大学生、また連携企業や団体等が参加できる災害ボランティア活動訓練や災害ボランティア講座などの研修を実施する。</li> <li>・ 災害ボランティア登録者のつながりづくりを目的とした災害ボランティア交流会などを実施する。</li> <li>・ ホームページや広報紙、SNSなどで災害ボランティアの事前登録を呼びかけるとともに、訓練参加者や防災士などへ登録の募集案内を行う。</li> <li>・ 災害ボランティア登録者に防災士資格取得費用助成を行う。</li> <li>・ 被災地域より要請があれば支援活動を行う。</li> </ul>
予算額	1, 102, 000円
財源	共募配分金、社協会費
地域福祉活動計画	<p>基本目標3：安心・安全な支え合いのまちづくり</p> <p>事業名：防災対応能力向上のための職員研修及び訓練の実施、災害ボランティア登録制度の充実、災害ボランティア研修及び活動訓練の実施、防災士資格取得補助制度の創設、災害ボランティアセンター設置運営事業、災害ボランティア活動の基盤強化</p>

【事業名】 善意銀行運営事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民福祉の増進に寄与することを目的に、市民や企業・団体等から善意の金品の預託を受けるとともに、善意銀行運営委員会の審議を経て払出しを行う。</li> <li>・ 令和2年度の善意銀行運営要綱改正(払出し対象に、災害被災者への見舞金支給、生活困窮者等への緊急かつ一時的な援助の項目を加える)を検証しながら、必要に応じ新たな払出し方法を検討する。</li> </ul>
予算額	2, 670, 000円
財源	善意銀行預託金
地域福祉活動計画	<p>基本目標1：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり</p> <p>事業名：善意銀行</p>

【事業名】 心配ごと相談事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の身近な相談窓口としての心配ごと相談所を開設し、市民の日常生活の相談に対し、助言や援助、専門機関へのあっせん等による解決を図る。</li> <li>・広く市民に周知するため、海南市報や社協広報紙、ホームページに掲載するとともに、チラシを配布し、啓発に努める。</li> <li>・相談員の資質向上のための研修会の開催や社協と心配ごと相談所との連携強化など、相談機能の充実を図る。</li> </ul>
予算額	310,000円
財源	社協会費
地域福祉活動計画	基本目標2：市民の困りごとを受け止める総合相談体制づくり 事業名：心配ごと相談事業

【事業名】 福祉教育事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちに住む様々な人が、ふだんの生活課題や福祉課題に気づきノーマライゼーションの考えに基づき行動できる福祉の心を育むことを目的に、学校や地域、福祉施設等と連携した福祉教育事業を実施する。</li> <li>・学校や地域が主体となって継続的に取り組むことができるよう、プログラムの見直しを行うとともに、先進地への視察等を行い、新しいプログラムの作成に取り組む。</li> </ul>
予算額	281,000円
財源	社協会費
地域福祉活動計画	基本目標1：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり 事業名：福祉教育の推進、新しい福祉教育のプログラムづくり

【事業名】 ボランティアセンター活動事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの様々な相談に対応するほか、ボランティア登録、ボランティアルームの貸出等により、ボランティア活動を支援する。</li> <li>・ボランティア募集情報等のホームページ掲載、生活支援コーディネーターを通じた地域情報の収集により、ボランティア活動に関する地域ニーズの把握・発掘を進め、マッチング機能の強化を図る。</li> <li>・出前講座等によりボランティア意識の醸成に努めるとともに、企業・団体等のボランティア活動が、地域の社会貢献につながるよう、地域ニーズに基づいた具体的なボランティアプログラムを提示する。</li> <li>・地域福祉活動支援事業で実施する生活支援ボランティア養成講座の機会等を活用し、ボランティア登録者増を図る。</li> <li>・ボランティアコーディネーターとしての資質向上のため養成研修などに参加する。</li> </ul>
予算額	4,069,000円
財源	市補助金、社協会費、一般財源、その他（利用料等）
地域福祉活動計画	<p>基本目標3：安心・安全な支え合いのまちづくり</p> <p>事業名：ボランティアセンター活動事業、新しい社会貢献的ボランティアプログラムづくり</p>

【事業名】 ふれあい・いきいきサロン支援事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の孤立感の解消、地域の見守り、健康づくりを目的として、身近な地域の人々が気軽に集まり、会話や体操などを楽しみながら仲間づくりの支援を行うふれあい・いきいきサロン支援事業を実施する。</li> <li>・サロンの継続や活性化を支援し、また居場所づくりに関心を持っている地域で立ち上げ支援を行う。</li> <li>・サロン運営者等の情報共有や相談ができる関係づくり及び設立や運営の推進を目的に、サロン交流会を開催する。</li> </ul>
予算額	10,941,000円
財源	市補助金、社協会費、一般財源
地域福祉活動計画	<p>基本目標1：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり</p> <p>事業名：ふれあい・いきいきサロン支援事業</p>

【事業名】 地域福祉活動計画進行管理事業

事業内容	各事業の実施状況を精査するため、地域福祉活動計画推進検討会を開催し、第2次地域福祉活動計画の進捗状況を管理する。
予算額	20,000円
財源	社協会費
地域福祉活動計画	計画外

【事業名】 福祉総合相談事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政や関係機関、NPO法人等と連携し、困りごとを抱えた人への必要な情報提供や福祉サービスの提供へ結び付けていくことができるよう相談支援体制の充実を図る。</li> <li>・総合相談に関する職員研修を実施するとともに、総合相談を主導するコミュニティソーシャルワーカーの配置を見据え、専門研修に参加しコーディネーション力の向上を図る。</li> <li>・福祉情報に触れることが少なく、情報が届かない方に対して、必要な情報が届くよう地域の福祉関係機関や専門職を通じて社協の相談窓口につながるよう周知するとともに、アウトリーチによりSOSを出すことができない人の把握に努める。</li> </ul>
予算額	304,000円
財源	一般財源
地域福祉活動計画	<p>基本目標2：市民の困りごとを受け止める総合相談体制づくり</p> <p>事業名：福祉総合相談事業、コーディネーション力の高い専門職の養成と配置、コーディネーション力の向上、情報が届かない方への情報発信の強化、専門職によるアウトリーチ</p>

【事業名】生活困窮者自立相談支援事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海南市から受託し、生活困窮者自立支援法に基づき、既存の制度では十分に対応できなかった生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対し、個々の状況に応じて自立までを包括的・継続的に支援する。</li> <li>・各関係機関（行政、社会福祉法人、民生委員児童委員協議会、病院等）と連携し相談支援を行い、状況によりケース会議を開催し、相談者一人ひとりに合ったプランを作成する。</li> <li>・相談者と継続的につながりを持ちつつ、相談者と周囲との関係をつなげていき、長期にわたる場合も含め、本人に寄り添う伴走型支援を展開する。</li> <li>・ひきこもりについては、支援機関、民生委員児童委員協議会、市内ボランティアグループ等と情報共有し、実態把握に努めるほか、当事者や支援機関と意見交換を行うとともに、県内ひきこもり支援機関の視察を行う。</li> </ul>
予算額	15,207,000円
財源	市受託金、善意銀行預託金
地域福祉活動計画	基本目標2：市民の困りごとを受け止める総合相談体制づくり 事業名：生活困窮者自立支援事業、当事者サロンやグループ支援の推進

【事業名】生活困窮者家計改善支援事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海南市から受託し、生活困窮者自立支援法に基づいた生活困窮者に対し、家計相談、家計表や家計再生プランの作成等、家計改善に向けた助言や提案などの支援を行う。</li> <li>・家計改善支援のなかで、必要であれば生活福祉資金貸付のあっせんなどを行う。</li> <li>・滞納の分納相談や法テラスなどの相談窓口にも同行し支援を行う。</li> </ul>
算額	2,872,000円
財源	市受託金
地域福祉活動計画	計画外

【事業名】 地域福祉活動支援事業（生活支援体制整備事業等）

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西部・東部・南部の3圏域にコミュニティワーカーを配置し、サロン活動及び福祉教育などの地域福祉活動を推進する。また、生活支援コーディネーターとして、旧小学校区を単位とした小地域において、地域住民や地域関係者と連携し地域課題の解決に取り組む協議体の設置を支援する。</li> <li>・地域ニーズにボランティアが対応できるよう、ボランティアセンター活動事業と連携し、生活支援ボランティアの養成講座を開催するなど、担い手の育成を図る。</li> <li>・社会福祉法人等の社会貢献活動を地域資源として把握するとともに、地域の具体的なニーズを共有することで、地域との協働を支援する。</li> <li>・買い物等の移動支援導入を試行するため、地域における講習会を実施するとともに、社会福祉法人等との連携による車両・運転者等の確保についても協議する。</li> <li>・生活支援コーディネーターの質の向上を図るため、研修会への参加及び先進地職員等の講師を招いた実習等を行う。</li> </ul>
予 算 額	10,400,000円
財 源	市受託金、社協会費、一般財源
地域福祉活動計画	<p>基本目標1：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり          事業名：コミュニティワーカーの配置、地域福祉活動支援事業(生活支援体制整備事業等)、地域ニーズへのボランティアの対応、社会福祉法人等との連携、生活支援コーディネーターの充実と質の向上</p> <p>基本目標3：安心・安全な支え合いのまちづくり          事業名：地域福祉活動支援事業(生活支援体制整備事業等)、移送サービス提供体制の検討</p>

【事業名】子どもの居場所づくり支援事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの居場所づくりや子どもと大人の地域交流の場となるよう、こども食堂等への立ち上げ時の支援を行う。</li> <li>・海南 nobinos、下津保健福祉センターで実施している学習支援の継続・拡充を図る。</li> <li>・ニーズがある地区において新たな居場所づくりを検討する。</li> </ul>
予算額	190,000円
財源	社協会費
地域福祉活動計画	基本目標1：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり 事業名：子どもの居場所づくり支援（こども食堂等）

【事業名】認知症見守り・啓発事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目的とした海南海草SOSネットワーク連絡会議や認知症啓発イベントに参加し、啓発に努める。</li> <li>・認知症についての理解を深めるため職員研修を継続して実施する。</li> </ul>
予算額	30,000円
財源	社協会費
地域福祉活動計画	基本目標3：安心・安全な支え合いのまちづくり 事業名：認知症見守り・啓発事業

【事業名】福祉サービス利用援助事業

事業内容	<p>県社協から受託し、判断能力が不十分な高齢者や障害者等の方々が安心して日常生活が送れるように、定期的に訪問し、福祉サービスの利用援助や日常生活上の手続きの援助をはじめ、日常的な金銭の管理、書類等の預かりなどの支援を行う。</p>
予算額	11,012,000円
財源	県社協受託金、県社協補助金、市補助金、その他（利用料）
地域福祉活動計画	基本目標2：市民の困りごとを受け止める総合相談体制づくり 事業名：福祉サービス利用援助事業

【事業名】生活資金貸付事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害や疾病、その他の事情により生活に困窮をきたした人に対し生活資金の貸付を行い、経済的自立の助長と生活の意欲の向上を図る。</li> <li>・貸付後も、随時状況確認を行い、自立に向け継続的に適切な支援を行うことで滞納者を増やさないよう努めるとともに、滞納者をリストアップし、臨戸訪問、督促などにより償還率の向上を図る。</li> </ul>
予算額	1,261,000円
財源	貸付基金
地域福祉活動計画	基本目標2：市民の困りごとを受け止める総合相談体制づくり 事業名：資金貸付事業（生活資金）

【事業名】生活福祉資金貸付事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県社協から受託し、低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯等、世帯単位に資金を貸し付けて生活を経済的に支えるとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図る。</li> <li>・貸付後も、随時状況確認を行い、自立に向け継続的に適切な支援を行うことで滞納者を増やさないよう努めるとともに、滞納者をリストアップし、臨戸訪問、督促などにより償還率の向上を図る。</li> <li>・生活福祉資金特例貸付の償還が滞る世帯に対して、状況確認を行い、生活に困窮している世帯については、生活困窮者自立相談支援事業等につなげる。</li> </ul>
予算額	6,654,000円
財源	県社協受託金
地域福祉活動計画	基本目標2：市民の困りごとを受け止める総合相談体制づくり 事業名：資金貸付事業（生活福祉資金）

### Ⅲ. 在宅福祉事業

#### 【事業名】いきいき介護予防事業

事業内容	海南省から受託し、高齢者の自立的生活を助長するとともに、利用者相互のふれあいと交流を深め、健康の保持及び増進を図るため、健康チェックやいきいき百歳体操、レクリエーション、入浴、給食、送迎等のサービスを提供する。
予算額	15,092,000円
財源	市受託金
地域福祉活動計画	計画外

#### IV. その他の関連事業

##### 【事業名】共同募金事業

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉活動の財源となる赤い羽根共同募金を広く募集するため、運動期間（10月1日～翌年3月31日）に戸別、街頭、職域、店頭等の各種募金運動を実施する。</li> <li>・共同募金協力型自動販売機の設置を進める。</li> </ul>
予算額	—
財源	共同募金事務費
地域福祉活動計画	基本目標1：助け合い・支え合える地域コミュニティづくり 事業名：共同募金事業

##### 【事業名】赤十字活動資金事業

事業内容	地震や台風などの自然災害や紛争、病気などに対する国内外での復興支援、救済活動、また救急法に基づく応急手当の知識と技術の普及などを行うため、赤十字活動資金を募集（5月1日～5月31日）する。
予算額	—
財源	日本赤十字事務費
地域福祉活動計画	計画外